

【ずぼら充電器】 車に搭載使用の場合の ご注意

バッテリーと 本器【ずぼら充電器】を 常時接続の状態に車に搭載される場合は 下記に ご注意下さい

- 1 AC100V 未供給状態で 放置される期間によっては バッテリーの逆電流による消費が 発生する事
があります(バッテリー上がり)
365日常時接続がおすすめです 電子回路が充電状態を監視しますので過充電・過放電の心配はまったく
不要です 1年中 つけっぱなしでも電気代は タバコ1箱分くらいの料金です
- 2 バッテリーと【ずぼら充電器】の充電コードが長く(コード長)になると 終止電圧が下がり
充電不良を 起こすことがあります
- 3 【ずぼら充電器】の周囲温度が 高温になると バッテリー液 “減” を防ぐ為 開始電圧・終止電圧が 下
がります 下がったまま 充電を続けると 充電不足の原因になります が バッテリーの
休息時間があれば 温度が下がり 自動復帰し 正常動作に戻ります
- 4 情報処理システム等 の搭載車両は “待機電流” または 多量の“暗電流”が
流れています 【ずぼら充電器】は “3A”定電流方式の 充電器です

一度に大きな電流を流す 定電圧方式ではありません 一定以上の電流を 流さず
バッテリーのキャップを閉めたままで(MF密封型 メンテナンス・フリー バッテリーにもOK) バッテリー
の寿命を延ばし 安全確実に充電する “3A”の“定電流方式”です
バッテリーの 開始電圧・終止電圧を設定し 充電が必要になると 自動で繰り返す
“バッテリー管理器”です

しかし “待機電流” 等が 多くなると 3A充電の 充電時間が長く必要になります が
車が休息する時間が 少ないと 【ずぼら充電器】本体の 温度が下がりにません
温度が下がらないと 開始電圧・終止電圧が 下がり 充電不足の原因になります

*バッテリー上がり *バッテリー液比重下がり *バッテリー充電不足 など
バッテリーのトラブルは 以上の様なことも 原因と考えられます

- 【ずぼら充電器】は 一旦 設定するとメンテナンス・フリー状態で “ほったらかしで OK” の設計です
通常 充電器基盤が高温になると バッテリー液の減少が頻繁になり また 密封型バッテリーの場合は
寿命を極めて 短くしますので 【ずぼら充電器】は それを防ぐため 高温になると 充電動作に 入りにく
くしています この場合 時間が経てば 温度が下がり 正常動作に 戻ります
- 【ずぼら充電器】は 充電中でも エンジン始動が可能です 緊急出動まで 安全・便利な
充電を継続でき バッテリーは常に満充電 安心して 出動できます